



徳島市長 原 秀樹

市長あいさつ

近年、全国的に局地的な集中豪雨や地震などの自然災害が多発しております。自然災害の発生を回避することはできませんが、日頃からの心構えと備えで被害を少なくすることは可能です。

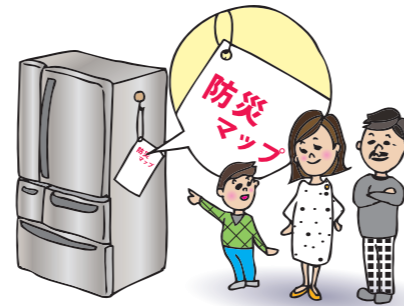
徳島市では、過去に数多くの水害を経験していることや、今後、東南海・南海地震の発生が高い確率で危惧されていることから、本市のまちづくりの基本理念の一つに「安心とくしま」の実現を掲げ、地域の防災力の向上を図るなど、様々な施策を推進しています。こうした取り組みに加え、災害発生時には、市民の皆様お一人おひとりが自分自身や家族を守り、かつ地域で助け合うことにより、被害を最小限に抑えることが大切です。

この総合防災マップは、災害への備えや地域の情報等を記載しておりますので、身近に常備していただき、いざという時に備えられますようお願いいたします。

総合防災マップとは？

洪水や地震などの災害に備え、皆さんが安全に避難していただくために必要な情報を示しています。

日頃から、防災マップの内容を確認していただくとともに、いざという時にすぐに防災マップを活用できるように、分かりやすいところに保管しておきましょう。



目次

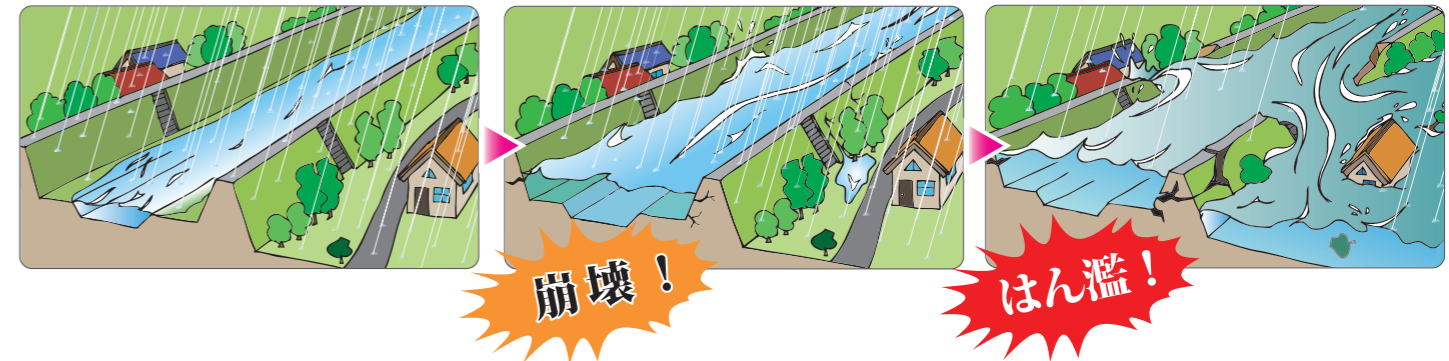
	ページ番号
1 災害の種類	1
2 災害に備えて	3
3 災害情報	9
4 避難の心得	14
5 洪水・土砂災害防災マップ	18
地区別索引図	19
平成16年台風23号浸水痕跡・土砂災害防災マップ	20
洪水防災マップ / 吉野川	66
/ 今切川	72
/ 鮎喰川	74
/ 園瀬川	78
/ 勝浦川	80
/ 飯尾川	82
避難所一覧	84
6 地震・津波防災マップ	88
地区別索引図	89
震度予測図 / 液状化予測図	90
津波浸水予測図	91
地域の危険度マップ	92
津波防災マップ	94
7 緊急連絡先	108
8 わが家の防災メモ	109

1 災害の種類

洪水の種類

洪水には、川の堤防が壊れたり堤防から水があふれたりして発生するはん濫（外水はん濫）と川に排水されるべき水が川に流れずにあふれてしまうはん濫（内水はん濫）があります。この防災マップでは、外水はん濫を対象としています。

●外水はん濫



土砂災害の種類

大雨や台風、地震が発生したときには、地盤がゆるみ「がけ崩れ」や「土石流」、「地すべり」といった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。

がけ崩れ（急傾斜地）



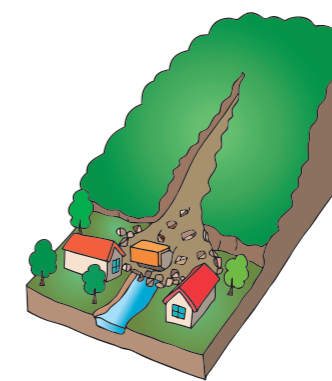
がけ崩れとは、地面にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象です。

突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので逃げ遅れる人も多く、死傷者の割合も高くなります。また、地震をきっかけに起こることもあります。

こんな前ぶれに注意！

- ・がけからの水が濁る
- ・がけに亀裂が入る
- ・小石がバラバラ落ちてくる

土石流



土石流とは、谷や斜面にたまった土・石・砂などが梅雨時期や台風時の集中豪雨により、水といっしょになって一気に流れ出してくる現象です。

破壊力が大きく、また速度も速いので、大きな被害をもたらします。

こんな前ぶれに注意！

- ・山鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・川の水が濁ったり、流木が混ざり始める

地すべり



地すべりとは、比較的緩やかな斜面で、地下水の影響などで地中の粘土層など滑りやすい面を境にしてゆっくり動き出す現象です。

一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害をもたらしたり、川をせき止めて洪水を引き起こすことがあります。

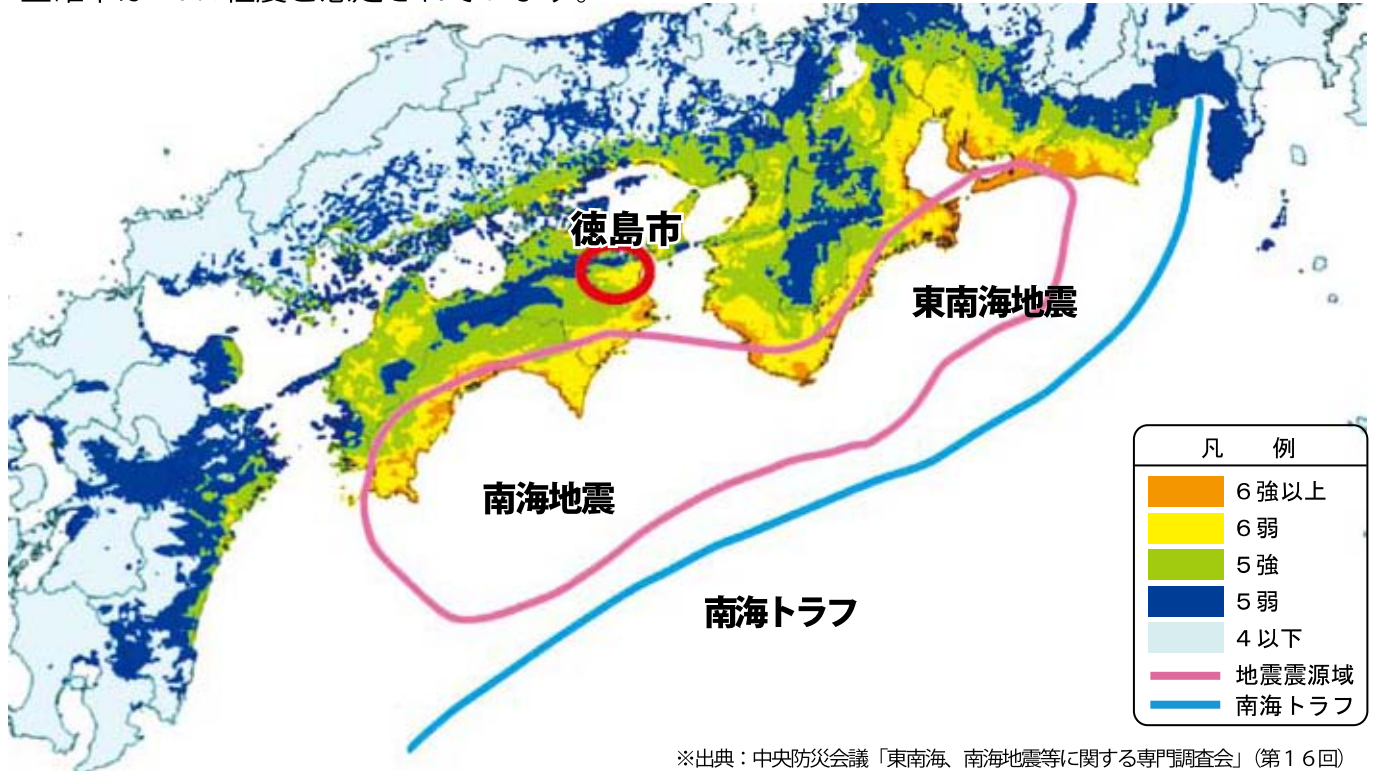
こんな前ぶれに注意！

- ・地面にひび割れができる
- ・沢や井戸の水が濁る
- ・斜面から水が吹き出す

東南海・南海地震について

東南海・南海地震は、わが国で発生する最大級の地震であり、駿河湾から土佐湾までの南海トラフ(海溝)を震源とし、歴史的に見て、概ね100年から150年の間隔で発生しています。東南海地震と南海地震に区別できますが、過去の事例からすると、連動して発生する可能性が大きいと考えられています。

平成23年1月現在、今後30年以内における南海地震の発生確率は60%程度、東南海地震の発生確率は70%程度と想定されています。



※出典：中央防災会議「東南海、南海地震等に関する専門調査会」(第16回) 東南海、南海地震に関する報告(案)(平成15年12月)

徳島市内の震度予測についてはP90の「震度予測図」をご覧ください。

津波発生のメカニズム

●プレート境界型地震による津波発生の仕組み



①海側のプレートが少しずつ陸側のプレートの下に潜り込む。

②陸側のプレートの先端部が引き込まれることでひずみが蓄積する。

③ひずみが限界に達した陸側のプレートが跳ね上がり、地震や津波が発生する。

※「トラフ」とは、海底の細長い谷のことをいいます。